

中部産業遺産研究会WEB

差出人: csih@googlegroups.com は 橋本英樹 <hidekih@wine.plala.or.jp> の代理
送信日時: 2022年3月28日月曜日 22:28
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH:251] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2022年3月28日発行
添付ファイル: 国際芸術祭「あいち2022」案内リーフ(2022.3.26).pdf

中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2022年3月28日発行

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】「国際芸術祭あいち2020」のご案内／天野武弘【New】

【3】『産業遺産研究 第29号』、「中部産遺研会報」の原稿募集について【再送】

／会誌・会報編集委員会 石田正治

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定【New】

●第171回定例研究会・見学会

2022年3月20日（日）13:30～16:00（現地集合・現地解散）

見学先：国登録有形文化財 旧山繁商店（愛知県瀬戸市仲切町・深川町）

交通：名鉄瀬戸線 尾張瀬戸駅から徒歩（瀬戸蔵ミュージアムから北へ徒歩10分ほど）

（地下鉄藤が丘駅前から尾張瀬戸駅までは名鉄バスがあります）

自動車の場合は瀬戸蔵ミュージアムに1時間まで無料の駐車場があります。

●第 30 回総会・第 172 回定例研究会

2022 年 5 月 22 日（日）予定・会場未定

●パネル展 2022 年 8 月 23 日（火）～2022 年 9 月 11 日（日）

●シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 39 回 2022 年 6 月頃（予定）

【2】「国際芸術祭あいち 2020」のご案内／天野武弘【New】

今年の「国際芸術祭あいち 2020」で、「あいち NAU プロジェクト」として、東京の女子美術大の眞田岳彦先生がプロデュースするイベントが各地で催されます。

ここに中部産遺研のメンバーが出演予定となっています。

4/16 に豊橋市民俗資料収蔵室で天野が出演

5/14 に豊田市発見館で小西恭子さん出演

5/15 に一宮市博物館で神田年浩さん出演

人数制限と事前申込み制になっています。

申込み先は、nau@aichitriennale.jp です。

①氏名、②年齢、③参加希望する施設名、④メールアドレス、⑤電話番号、⑥お住まいの市町村
詳細は添付ファイルにございます。

また、

<https://aichitriennale.jp/news/2022/004765.html>

もご覧下さい。

【3】『産業遺産研究 第 29 号』、「中部産遺研会報」の原稿募集について【New】

／会誌・会報編集委員会 石田正治

以下の通り『産業遺産研究 第 29 号』および『中部産遺研会報』の原稿募集を致します。

詳細は以下の通りです。

1. 『産業遺産研究 第 29 号』

(1) 査読論文等（論文、調査報告、研究ノート）

- ・投稿申し込み 2022 年 4 月 15 日まで
タイトルと概要（200 字程度）を石田正治宛連絡
電子メールアドレス：ishida96@tcp-ip.or.jp

- ・投稿原稿提出期限 2022 年 4 月 30 日（土）
執筆要綱、投稿要領を参照の上、原稿を作成してください。

4月30日以降の投稿原稿の修正は、査読が終了するまでできません。

・編集スケジュール

- 4月30日(土) 原稿受け付け終了
- 5月5日(木)～6月5日(日) 査読期間
- 6月10日(金) 査読結果の通知
- 6月30日(木) 修正原稿提出期限
- 7月5日(火) 著者校正期限
- 7月10日(日) 版下原稿、印刷所に送付
- 7月20日(水) 発行予定 (定例研究会 7/24 または 7/31)

(2) 査読論文等以外の諸原稿

- ・投稿原稿提出期限 5月29日(日)
- 5月29日(日)～6月19日(日) 編集期間
- 6月30日(木) 著者校正期限
- 7月10日(日) 版下原稿、印刷所に送付
- 7月20日(木) 発行予定
- ・投稿宛先 石田正治 ishida96@tcp-ip.or.jp
440-0093 愛知県豊橋市横須賀町元屋敷14-2

2. 「中部産遺研会報」への投稿原稿締め切り日

- 会報第86号 原稿締め切り：3月15日 (4月15日発行予定)
- 会報第87号 原稿締め切り：6月15日 (7月15日発行予定)
- 会報第88号 原稿締め切り：9月15日 (10月15日発行予定)
- 会報第89号 原稿締め切り：12月15日 (1月15日発行予定)

※会報用テンプレート(一太郎)で作成される場合は、発行日の15日前まで受け付けます。

- ・投稿宛先 石田正治 ishida96@tcp-ip.or.jp
440-0093 愛知県豊橋市横須賀町元屋敷14-2

--



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 広報幹事

Home Page URL : <http://csih.sakura.ne.jp/> Copyright The Chubu Society For The Industrial Heritage.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには

csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。

このディスカッションをウェブ上で閲覧するには、

<https://groups.google.com/d/msgid/csih/00bb01d842a7%24b67a7540%24236f5fc0%24%40wine.plala.or.jp> にアクセスしてください。



STILLALIVE
国際芸術祭
あいち2022

あいちの繊維文化と、
人が生きたちからを知り、
作品を、みんなで織る。



トーク &
ワークショップ
参加者募集

あいち

NAU

織あ 豊橋市 4/16(土)
維い 一宮市 4/23(土) 5/15(日)
をち 安城市 4/30(土)
巡の 瀬戸市 5/1(日)
る 豊田市 5/14(土)
知多市 5/21(土)

アーティスト

真田岳彦

Sanada Takehiko

プロジェクト



みんなで綯う

各地開催 2022.4.16-5.21
あいちの繊維を巡る

豊橋市／一宮市
安城市／瀬戸市
豊田市／知多市

開催地

①

“豊橋市で綯う”

豊橋市民俗資料収蔵室
(豊橋市美術博物館付属施設)



開催地

②

“一宮市で綯う”

一宮市三岸節子記念美術館



開催地

③

“安城市で綯う”

安城市歴史博物館



開催地

④

“瀬戸市で綯う”

愛知県陶磁美術館



テーマ：豊橋の玉糸がつなぐ人

日時：4月16日(土) 14:00～16:00

定員：30名 ※先着順

● レクチャー

登壇者：天野武弘
(愛知大学中部地方産業研究所)
成岡久男

● 糸繰り実演・対談

ゲスト：成岡久男、成岡靖子
アシスタント：三木令子
奥中竹代
Takano Kyoko
朝倉美知子

参加申込開始：3月17日(木)

参加申込締切：4月9日(土)

住所 豊橋市多米町滝ノ谷34-1-1
URL <https://www.toyohashi-bihaku.jp/>

テーマ：機業と女性のちから

日時：4月23日(土) 13:30～15:30

定員：30名 ※先着順

● レクチャー

登壇者：野田路子
(一宮市三岸節子記念美術館学芸員)
成河端子
(一宮市博物館学芸員)

● 対談

ゲスト：野田路子
成河端子

参加申込開始：3月25日(金)

参加申込締切：4月16日(土)

住所 一宮市小信中島字郷南3147-1
URL <http://s-migishi.com/>

テーマ：安城の農業と繊維

日時：4月30日(土) 13:30～15:30

定員：20名 ※先着順

● レクチャー

登壇者：野上真由美
(安城市歴史博物館学芸員)

● 対談

ゲスト：伊藤基之
(安城市歴史博物館学芸係長)
野上真由美

参加申込開始：3月17日(木)

参加申込締切：4月23日(土)

住所 安城市安城町城堀30番地
URL <https://www.ansyobunka.jp/>

テーマ：愛知の土

日時：5月1日(日)

定員：30名 ※先着順

● レクチャー

登壇者：佐藤一信
(愛知県陶磁美術館学芸員)

● 対談

ゲスト：佐藤一信

参加申込開始：3月17日(木)

参加申込締切：4月23日(土)

住所 瀬戸市南山口町2-1
URL <https://www.premuseum.jp/>



トーク&ワークショップ 内容

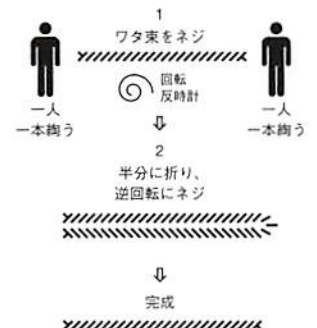
- ・あいちNAUプロジェクトの紹介
- ・各館館長や学芸員、専門家による各地域の土地や繊維についてのレクチャー
- ・眞田岳彦との対談や実演
- ・みんなでNAU ウールで縄を綯うワークショップ
*縄は「あいち2022」展示作品の一部になります。

所要時間：各回120分程度

参加対象：どなたでも

(開催館により対象あり、複数会場への参加可)

参加費：無料



みんなでNAUワークショップイメージ
2名でウールを綯います。お子さまから高齢者の方まで、気軽にご参加ください。

トーク&作品の
一部を制作する
ワークショップを
開催します

繊維・衣服文化の研究と造形を行う真田岳彦企画のもと、愛知県内6都市7つの美術館・博物館でトーク&ワーク
ショップを開催します。今回の国際芸術祭「あいち2022」のテーマ「STILL ALIVE 今、生き抜くアートのち
から」を受け、6都市のワークショップで参加者の皆さんが紬う縄を、「あいち2022」で展示する造形作品として、
真田岳彦がまとめ上げ、一宮市役所に展示します。愛知が継承してきた技術、愛知と世界の関係、人と人の関係、
人と地域や自然との関係などを、「紬う」という行為から芸術作品に昇華させます。

開催地

“豊田市で紬う”

豊田美術館



と人

13:30 ~ 15:30

副館長

7日(木)

4日(日)

4番地

f.aichi.jp/touji/

開催地

⑤

“豊田市で紬う”

豊田市近代の産業とくらし発見館



テーマ：豊田の養蚕とくらし

日時：5月14日(土) 10:00 ~ 12:00

定員：20名 ※先着順

● レクチャー

登壇者：小西恭子

(豊田市近代の産業とくらし発見館学芸員)

● 繭からの糸引きの実演

● 対談

ゲスト：小西恭子

参加申込開始：3月17日(木)

参加申込締切：5月7日(土)

住所 豊田市喜多町4丁目45番地

URL <http://www.toyota-hakken.com/top.html>

開催地

⑥

“一宮市で紬う”

一宮市博物館



テーマ：一宮の繊維の変遷

日時：5月15日(日) 13:30 ~ 15:30

定員：30名 ※先着順

● レクチャー

登壇者：神田年浩

(一宮市博物館学芸員)

● 尾張もめん伝承会による実演

● 対談

ゲスト：神田年浩

尾張もめん伝承会

(熊澤紀子、鈴木良子)

参加申込開始：3月25日(金)

参加申込締切：5月8日(日)

住所 一宮市大和町妙興寺2390

URL <https://www.icm-jp.com/>

開催地

⑦

“知多市で紬う”

知多市歴史民俗博物館



テーマ：知多の本綿と晒

日時：5月21日(土) 10:00 ~ 12:00

定員：30名 ※先着順

対象：小・中学生

※保護者の付添可

※大人の方だけの参加も可能です

● レクチャー

登壇者：知多市歴史民俗博物館職員

● 糸紡ぎの実演・対談

ゲスト：吉川佳代

(知多木綿連絡会代表・博物館の
織りの技術伝承講座講師)

参加申込開始：3月17日(木)

参加申込締切：5月14日(土)

住所 知多市緑町12番地の2

URL <http://www.city.chita.lg.jp>

※登壇者やゲストの所属、肩書は2022年3月時点のものです。

申込先・お問い合わせ先

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局 あいちNAUプロジェクト係

電話番号：052-971-3111

メールアドレス：nau@aichitriennale.jp

〒461-8525 名古屋市中区東桜一丁目13-2 愛知芸術文化センター6階

FAX番号：052-971-6115

●お申込み方法

国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局 あいちNAUプロジェクト係
(nau@aichitriennale.jp) までメールでお申込みください。

メールには下記の内容を記載してお送りください。

件名：あいちNAUプロジェクト参加申込み

本文：①氏名、②年齢、③参加を希望する施設名、④メールアドレス、

⑤日中ご連絡のつく電話番号、⑥お住まいの地域(市区町村まで)

※郵便、FAXでお申込みの場合は、左記の申込先へ、

必要事項をご記入のうえお送りください。

●申込み締切

各館ごとに異なりますので、それぞれの申込み締切日までにお申込みください。

(各館のイベント実施日の7日前まで。※先着順。定員になり次第締め切ります。)

●お申込み後のご連絡

お申込み後、担当より申込受付完了のご連絡をします。お申込みから3日(土日祝除
く)経っても連絡がない場合は、左記の申込先へお問い合わせください。

注意事項：イベントの様子を写真と動画によって記録します。記録した写真や動画は国際芸術祭「あいち2022」の広報物(印刷物、公式Webサイト、SNS等)や報告書等で使用する場合があります。また、芸術祭会期中に一宮市役所で展示する作品の一部として、掲出・放映する予定ですのでご了承ください。

アーティストについて

真田岳彦

造形家／繊維研究家



1962年東京生まれ。幼少から画家であった父に絵画を習い、ISSEY MIYAKE でデザインを学び渡英。北極圏滞在を経て、彫刻家リチャード・ディーコンにアートを学び独立。20代から世界各地を巡る異文化体験、国立民族学博物館外来研究員等の経験から新潟県、千葉県、東京都、兵庫県、広島県、熊本県など各地で、日本の繊維再興プロジェクトを開催。また、国内外展覧会参加、企業へのアートディレクション、大震災後の心の支援活動、次世代育成組織主宰、執筆等を行う。現在、真田造形研究所主宰。女子美術大学・大学院教授。東北芸術工科大学客員教授。武蔵野美術大学、愛知県立芸術大学等の非常勤講師。

あいちNAUプロジェクト

愛知に生きる人々の豊かさとは何か。それは約120万年前頃まで存在したとされる東海湖が培った土地の“ちから”によるものではないかと私は考えました。湖畔に蓄積した土が陶磁文化を生み、広大な平野に植生する植物が繊維文化を育みました。

人々はこの土地で生きるために左右の手をすり合わせて、土を「陶い」食器をつくり、植物を「絢い」身体の器となる衣類をつくりました。また、桑を植えて養蚕を行い、棉を栽

培して糸をつくり、編組織を行って暮らしをたて、その繊維関連技術は羊毛産業を育み、自動車、航空・宇宙産業へと可能性を広げました。

本企画では、愛知の人々の生命を育み継いできた各地域の繊維文化に焦点を当て、県内6都市7美術館・博物館とともに「今、を生き抜くアートのちから」を探究します。ぜひプロジェクトに参加し、あるいは作品を観賞して、愛知の豊かさを感じてください。

真田岳彦

愛知6都市から作品がうまれる



1. みんなでNAU

4月～5月

2022年4月16日から5月21日にかけて、愛知県内6都市7つの美術館・博物館で、各地域の土地や繊維についてのレクチャー、対談、ワークショップ「みんなでNAU」を開催。

2. 大きくNAU 5月～6月

参加者が「みんなでNAU」で織った縄から、真田岳彦が造形作品を制作。

3. みんなで観る 7月30日～10月10日



「大きくNAU」で制作した作品を、「あいち2022」の展示作品として一宮市役所のエントランスに展示。愛知県各地の研究者・専門家から寄せられた繊維にまつわるテキストを同時展示。

←作品展示イメージCG 一宮市役所内

4. 循環 会期後

展示期間後に造形作品はほどかれ、再利用や再資源活用など、あいちの繊維文化の循環を構想しています。

パネル展示

あいちの土地と人と繊維

愛知県内の研究者・専門家の寄稿を作品と同会場にパネル展示。各地域で育まれた豊かな繊維文化をテキストでご覧いただけます。

豊橋市美術博物館／一宮市三岸節子記念美術館／安城市歴史博物館／愛知県陶磁美術館／豊田市近代の産業とくらし発見館／一宮市博物館／知多市歴史民俗博物館／愛知大学中部地方産業研究所研究員 天野武弘／あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター／あいち産業科学技術総合センター 三河繊維技術センター／蒲郡市博物館

国際芸術祭「あいち2022」

国内外から90組以上のアーティストが参加し、現代美術、パフォーマンス、ラーニング・プログラムなど、ジャンルを横断した最先端の芸術を発信します。



テーマ STILL ALIVE 今、を生き抜くアートのちから
芸術監督 片岡真実(森美術館館長、国際美術館会議(CIMAM)会長)
会期 2022年7月30日(土)～10月10日(月・祝)(73日間)
主な会場 愛知芸術文化センター、一宮市、常滑市、有松地区(名古屋市)

主催 国際芸術祭「あいち」組織委員会

協力 (連携協力) 豊橋市美術博物館

一宮市三岸節子記念美術館

安城市歴史博物館

愛知県陶磁美術館

豊田市近代の産業とくらし発見館

一宮市博物館

知多市歴史民俗博物館(開催日順)

(寄稿協力)

愛知大学中部地方産業研究所研究員 天野武弘

あいち産業科学技術総合センター

尾張繊維技術センター・三河繊維技術センター

蒲郡市博物館(順不同)